

## 科 目 名

# ドイツ語 I German I

2年 前期 2単位 選択

植 木 隆 俊

## 概 要

ドイツ語の授業では現代標準ドイツ語の理解と運用の基本を教え、ドイツ語 I・II のクラスではドイツ語の文法と読解の基本を教える。ドイツ語 I（2年次前期開講）とドイツ語 II（2年次後期開講）によってドイツ語文法の基本を一通り学習することになるので、ドイツ語の習得を志す人は、継続的に受講することが望ましい。

## 目 標

ドイツ語文法の学習によって独和辞典を利用出来るようにし、ドイツ語の初歩的な文章を読み解くことが出来るようにする。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
① オリエンテーション	教科書と辞典の紹介、アルファベットの紹介
② ドイツ語の発音はとても簡単です	母音、子音、七曜、十二カ月、あいさつ表現
③ Lek. 1 Ich lerne jetzt Deutsch.	——主語に合わせて動詞に語尾が現れます——
④	不定詞、動詞の現在形、定動詞第2位の原則
⑤ Lek. 2 Die Mutter kauft dem Kind ein Spielzeug.	——冠詞と名詞の性・数・格は一致します——
⑥	冠詞と名詞の性・数・格を表す語尾、複数形
⑦ Lek. 3 Ich schenke meiner Freundin eine Uhr.	——いろいろな冠詞と代名詞の紹介です——
⑧	冠詞の仲間たち、指示代名詞、疑問代名詞
⑨ Lek. 4 Siehst du gern Filme? Ja, ich sehe gern Filme.	——現在形で語幹の母音が変わる動詞——
⑩	ä型動詞、i型動詞、ie型動詞、命令形
⑪ Lek. 5 Am Wochenende fahren wir oft ans Meer.	——前置詞は特定の格と結びつきます——
⑫	人称代名詞、前置詞、前置詞の格支配
⑬ Lek. 6 Heute haben wir schönes Wetter.	——名詞修飾形容詞に格語尾が現れます——
⑭	形容詞の格語尾、形容詞の名詞化
⑮ 期末試験	

## 授業方法

講義と演習を行う。

## 学習達成度の評価

試験による。

## 評価方法

期末試験による（不合格者には再試を行う。但し、不合格者少数の場合には行わないことがある。）

## 教科書

高橋・城間 著『おしゃれなドイツ語（最旬版）』（朝日出版社）

## 履修上の注意

- ① 独和辞典を検索するときの注意点を授業中に教える。授業には教科書と共に辞典も持参すること。教科書は上記のものであり、辞典は別途選定して初回授業の際に推薦する。
- ② 毎回の授業では、前回の既習事項の復習に30分、当日の新出事項の学習に60分を予定している。より良い理解と効果的な学習のために、受講者は復習・予習に努めること。
- ③ ドイツ語 I の知識がドイツ語 II の学習の前提であることに注意すること。また、ドイツ語 I・II の知識がドイツ語 III・IV（3年次開講）の学習の前提であることに注意すること。

科 目 名
<b>ドイツ語 I</b> <b>German I</b>

2年 前期 2単位 選択

福 山 洋

## 概 要

ドイツ語 I では、現代標準ドイツ語への入門となるようなドイツ語理解の基本を学ぶ。現代標準ドイツ語の全体像を得るためには前期（ドイツ語 I）・後期（ドイツ語 II）の 1 年間が必要であるため、前・後期とも継続して受講することが望ましい。

## 学習目標

1. 現代標準ドイツ語の理解と運用のための基礎を作る。
2. 国際人として生きるための基本的な姿勢、国際理解・異文化理解の姿勢を養う。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
1. オリエンテーション	前期授業の全般的な説明。
2. 動詞の現在人称変化 I	動詞は主語の人称と数とに応じて語尾が変化する。その変化を学ぶ。
3. 語順	基本的な語の並べ方を学ぶ。
4. 冠詞	英語の the（定冠詞）や a・an（不定冠詞）に相当するものを学ぶ。
5. 名詞の格変化	ドイツ語の名詞はとても個性的。その特徴と役割を考え学ぶ。
6. 動詞の現在人称変化 II	動詞の現在人称変化 I で学習した以外の特殊な動詞について学ぶ。
7. 命令形	相手によって命令の形は変わる。
8. 冠詞類	冠詞で学習したものによく似た形のものを学ぶ。
9. 指示代名詞・疑問代名詞	それぞれの運用学習。
10. 人称代名詞の格変化	私、君といった人称はその役割に応じて変化する。
11. 前置詞の格支配	前置詞は後ろに来る名詞や代名詞に対して特定の形を要求する。
12. 話法の助動詞	本動詞を助け様々なニュアンスを添える品詞。
13. 従属の接続詞	特定の接続詞を使用した場合の配語法を学ぶ。
14. 分離動詞	基本動詞の前にいろいろな前綴りがついた動詞を学ぶ。
15. 再帰動詞 es の用法	再帰代名詞と共に用い、ひとつのまとまった意味を持つ動詞を学ぶ。 英語の it の用法が参考になる。

## 授業方法

講義と演習を行う。

## 評価方法

主として試験による。平常点も加味する。

## 教 材

教科書：春日正男 他著「怖くはないぞドイツ文法」（朝日出版社）また、独和辞典を選定し、別途推薦する。

## 履修上の注意

学生個々人が辞書を検索しながら、与えられたテキストを読解できるようになることが当面の目標である。授業には、教科書と共に辞書も持参すること。